

一般社団法人日本アレルギー学会
2024年度 事業報告書
(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

I. 会員の異動状況

1) 正会員

2024年7月31日現在	12,759名
2025年7月31日現在	12,927名
増減数	168名(増)

内訳	新入会員	605名
	除退会員	415名
	物故会員	22名

役員(理事・監事)、代議員

2024年7月31日現在	理事26名	監事2名	代議員384名
2025年7月31日現在	理事26名	監事2名	代議員384名
増減数	0名	0名	0名

2) 名誉会員	2024年7月31日現在	35名
	2025年7月31日現在	34名
	増減数	1名(減)

3) 賛助会員	2024年7月31日現在	23社
	2025年7月31日現在	24社
	増減数	1社(増)

II. 事業の状況

1. 学術大会、講演会等の開催(定款 第5条 第1号)

1) 第73回学術大会

会期: 2024年10月18日(金)～10月20日(日)

会場: 国立京都国際会館

開催方法: ハイブリッド開催

現地開催 … 10月18日(金)～10月20日(日)

オンデマンド配信 … 11月11日(月)～12月16日(月)

参加登録者数: 6,239名

(会期中来場者数 医師・一般: 2,603名、メディカルパートナー: 130名、前期研修医/学生/患者会: 144名)

特別プログラム: 合計 235 演題(招請講演 15、特別講演 3、会長講演 1、教育講演 27、会長特別企画 4、シンポジウム 85、JSA-JSI3、JSA-EAACI4、JSA-DGAKI3、JSA-WA03、EAAS3、特別企画 4、働き方改革スイーツセミナー8、JSA-WA02020 記念研究助成プログラム 10、教育セミナー 48、イブニングシンポジウム 14)

一般演題: 合計 598演題(日本語: Mini Symposium 343、ポスター 193、English Session: Oral 50、Poster 12
アレルギー73巻 第6・7号(抄録号) 8月25日発行

2) 第11回総合アレルギー講習会

会期: 2025年3月22日(土)～23日(日)…現地実施+Live配信

2025年4月14日(月)～5月12日(月)…オンデマンド配信

会場: 神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル

開催方法: ハイブリッド開催

参加者総数: 2,776名

(内訳) 現地参加者 796名
Web参加者 2,529名 (Live配信参加者: 851名、オンデマンド配信参加者: 1,678名)
会 員 2,513名
非 会 員 263名
講義数: 48 講座 (講義22、教育セミナー12、イブニングシンポジウム4、実習10)

3) 第7回臨床アレルギー講習会

会期: 2024年9月16日 (月・祝)
開催方法: Web開催 (Live配信) + 事後学習用動画配信
受講者数: 808名 (会員 401名、非会員 407名)
講義数: 14 講座 (講義 9、実技指導 (ビデオ) 5)

4) 地方会

全国8支部 (北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄)

○第5回北海道地方会

会 長: 廣崎 邦紀 (北海道医療センター皮膚科)
開催日: 2024年9月23日 (月・祝)
場 所: 札幌医科大学記念ホール

○第6回東北地方会

会 長: 植木 重治 (秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座)
開催日: 2024年11月24日 (日)
場 所: TKPガーデンシティ仙台

○第12回関東地方会

会 長: 岡野 光博 (国際医療福祉大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科学)
開催日: 2024年12月14日 (土)
場 所: 秋葉原コンベンションホール (現地+Live配信)

○第13回関東地方会

会 長: 福永 興彦 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科)
開催日: 2025年6月28日 (土)
場 所: 秋葉原コンベンションホール (現地+Live配信)

○第6回北陸地方会

会 長: 和田 泰三 (金沢大学医薬保健研究域医学系小児科学)
開催日: 2024年11月24日 (日)
場 所: 金沢大学附属病院 4F宝ホール (現地+Live配信)

○第6回東海地方会

会 長: 増田 佐和子 (国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科)
開催日: 2025年3月9日 (日)
場 所: ウィンクあいち (愛知県産業労働センター)

○第12回近畿地方会

会 長: 石浦 嘉久 (関西医科大学内科学第一講座)
開催日: 2025年6月22日 (日)
場 所: オービックホール

○第7回中国・四国地方会

会 長: 北村 嘉章 (徳島大学大学院医歯薬学研究部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野)
開催日: 2025年3月1日 (土)
場 所: 徳島大学蔵本キャンパス大塚講堂 (現地+Live配信)

○第7回九州・沖縄地方会

会 長: 迎 寛 (長崎大学病院呼吸器内科)
開催日: 2025年2月22日 (土)
場 所: 出島メッセ長崎

2. 学会誌、ガイドライン、その他の刊行物の発行（定款 第5条 第2号）

- 1) 和文誌 「アレルギー」 73巻6・7号～10号(6・7号は合併号として発行)、74巻1～3号、2025年から年6回発行
発行日 73巻6.7合併号(8/25)、73巻8～10号(9、11、12月各1日)、74巻1～3号(2・4・6月 隔月10日)
発行部数 73巻6・7号(合併号) 冊子 約13,000部、73巻8号～10号(通常号) 冊子 約12,200部、2025年(74巻)以降は冊子の発行を廃止し、オンラインジャーナル(J-stage、メディカルオンライン)および電子書籍 KaLibに掲載
- 2) 英文誌 「Allergology International」 73巻4号～74巻3号 計4回発行
発行日 2024年10月、2025年1月、4月、7月
発行部数 73巻4号 冊子1,500部発刊、希望者のみ配本。2025年(74巻)以降は冊子の発行を廃止し、J-stageおよび Science Direct(エルゼビア)のオンラインジャーナルのみに掲載

3. 専門医、指導医、教育研修施設等の認定（定款 第5条 第3号）

○専門医数 5,345名(2025年7月31日現在)

内訳：内科 2,366名、小児科 1,942名、皮膚科 538名、耳鼻咽喉科 473名、眼科 26名

1) 令和7年度(2025年度) 専門医の認定

受験申請者 279名

- ・令和7年度(2025年度)受験申請者279名および令和3年度(2021年度)の受験困難者1名の計280名を資格審査委員会にて書類審査し、受験有資格者と判定(2024年12月10日)
- ・令和7年度(2025年度)専門医認定試験をCBT方式にて実施、252名を新たに専門医として認定(2025年5月28日)

2) 2024年度 指導医の認定

指導医申請者33名について、資格審査委員会にて随時審査 30名を新たに指導医として認定

3) 2024年度 教育研修施設の認定

教育研修施設への申請52科、準教育研修施設への申請22科について、資格審査委員会にて随時審査
教育研修施設51科、準教育研修施設22科を新たに認定

4) 令和7年度(2025年度) 専門医の更新認定

申請者694名 資格判定会議にて694名の更新を認定

5) 令和7年度(2025年度) 指導医の更新認定

申請者128名 資格判定会議にて128名の更新を認定

6) 令和7年度(2025年度) 教育研修施設の更新認定

教育研修施設の申請127科 資格判定会議にて127科の更新を認定
準教育研修施設の申請19科 資格判定会議にて19科の更新を認定

4. 研修及び教育の実施（定款 第5条 第4号）

(1) 専門医教育セミナー

1) 第66回 Web開催(e-learningによる受講) Web配信期間：2024年9月24日～10月23日

2) 第67回 ハイブリッド開催 現地：2025年5月18日 / Web配信期間：2025年6月4日～7月3日

(2) e-learning (E-learning for Allergy Trainees) 随時作成・配信

(3) 専門医制度集中研修(第18回相模原臨床アレルギーセミナー：共催)

2024年8月1日～9月2日 e-learningによるWeb開催

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 第5条 第5号）

1) 2025年度海外研究留学助成金

学会Webサイトにて公募、応募者5名について選考、理事会に諮り5名に決定した。

2) 2024年度(第21回)日本アレルギー学会学術大会賞

2024年度本学会学術大会(第73回学術大会)で発表された研究業績を対象として学会誌および学会Webサイトにおいて公募、学術大会賞選考委員会の審査後、理事会承認を経て応募者16名のうち5名が受賞した。

3) 2024年度臨床研究支援プログラム

学会員が行う臨床研究の推進や将来の研究のスタートアッププログラムとしての支援のため2016年から実施している。2024年度は、研究推進委員会の審査の後、理事会承認を経て新規応募23件、継続応募1件のうち内5件が受賞した。

4) JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム 2025

2020年に開催された第69回学術大会は、世界アレルギー機構(WAO)との共催だったが、その際の余剰金をもとに「JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム」を創設した。2025年度(4回目)の公募で、選考推薦委員会の審査の後、理事会承認を経て通常枠11件の応募のうち5件が受賞し、若手研究者枠16件の応募のうち8件が受賞した。

5) サノフィ優秀論文賞

サノフィ株式会社から支援を受け「サノフィ優秀論文賞」を設立した。2025年度は4回目の公募で、総計53件の応募があり、研究推進委員会とAllergology International 編集委員会の合同審査の後、一般部門は27件、Allergology International 部門は6件が受賞した。

6. 関連学術団体との連絡及び協力 (定款 第5条 第6号)

- 1) 専門医制度関連：日本医師会役員と機構認定専門医制度について打ち合わせ (2025年3月22日)
- 2) 公益財団法人日本アレルギー協会との連携協力：第73回学術大会共催。同協会主催「アレルギー週間」(2024年12月1日～2025年4月30日)を後援。
- 3) 内科系学会社会保険連合：アレルギー関連委員会運営団体として社員総会・運営委員会に参加。内保連例会及び呼吸器関連委員会・遠隔医療関連委員会に委員参加。アレルギー関連委員会を開催し、2026年度(令和8年度)診療報酬改定に向けての医療技術評価や再評価の提案・調整を行い、関係学会と共同で厚生労働省に提案した。
- 4) 日本医学会：評議員会、臨床部会、医学用語委員会等に委員派遣、分科会としての活動に参加。
- 5) 日本医療安全調査機構：診療行為に関連した死亡の調査について協力関係学会として、全国7ブロックの統括責任者、ブロックごとに推薦担当者窓口および個別調査部会員を配置し、協力体制をとっている。本学会は日本医療安全調査機構の社員として、社員会費(医療安全分担金)を拠出した。

7. 国際的な研究協力と交流の推進 (定款 第5条 第7号)

- 1) World Allergy Organization(WAO)との活動
 - ・WAO House of Delegates (2025-26)
日本アレルギー学会から4名の代表を登録(国際交流委員会委員長、副委員長、委員2名)
 - ・WAO Board of Directors
Counselor: 海老澤元宏理事長
 - ・JSA-WAO Symposium 第73回学術大会中に開催(2024年10月18日)
 - ・2025 AAAAI / WAO Joint Congress, に3名の講演者派遣(2025年2月28日)
- 2) European Academy of Allergy and Clinical Immunology(EAACI)との交流
 - ・JSA-EAACI Symposium 第73回学術大会中に開催(2024年10月19日)
 - ・EAACI Congress 2025におけるJSAセッション 4名講演者派遣(2025年6月13日)
- 3) ドイツアレルギー学会(DGAKI)との交流
 - ・JSA-DGAKI Joint Meeting 第73回学術大会中に開催(2024年10月18日)
- 4) 韓国アレルギー学会(KAAACI)との交流 及び East Asia Allergy Symposium 2025(EAAS 2025)
 - ・KAAACI Seoul International Congress 2025 with KAAACI-EAACI Allergy School と同大会内で開催された EAAS 2025 に講演者8名(海老澤元宏理事長、国際交流委員会委員長、若手6名)派遣(2025年5月15日-17日)

8. 普及啓発活動 (定款 第5条 第8号)

学会Webサイトの一般向けコンテンツ

- ・アレルギーに関する解説、疾患の説明及びQ&A等の掲載
- ・本学会専門医の検索サイト掲載(都道府県、専門、氏名、病院名で検索)
- ・関連機関からの一般市民向けの情報等掲載

9. その他目的を達成するために必要な事業 (定款 第5条 第9号)

- ・アレルギー情報センター事業(厚生労働省補助事業)

アレルギーポータルサイトに掲載している情報について、最新のガイドラインや手引きの内容と齟齬が無いようアップデートし、アレルギーに関するQ&Aについても検索しやすいよう改修した。さらに、動画集には疾患に限らずアレルギー回避や検査等、追加で10本のコンテンツを作成した。また、アレルギー相談員養成研修会を2024年11月に開催(Live配信)するとともに、医療関係者の研修の一助となるよう「アレルギーの手引き2025」を作成した。

・第9回働き方改革推進奨励賞

ワーク・ライフバランスの向上に関する経験や工夫は全ての学会員に有用であると考え、2016年度より「奨励賞」を設け、男女共同参画の理念も含めた働き方改革活動を積極的に推進している学会員または所属機関を表彰し公開している。2024年度「第9回日本アレルギー学会働き方改革推進奨励賞」は、学会誌及び学会Webサイトにて公募し理事会において受賞者を決定した。

受賞者：板澤寿子（埼玉医科大学医学小児科）

山口裕礼（やまぐち呼吸器内科・皮膚科クリニック）

III. 会議等

理事会・社員総会

1. 第7期 第5回常務理事会

日時：2024年10月17日（木）16：00～16：15

場所：みやこめっせ 地下1階「特別展示場」

出席：理事長、常務理事6名、オブザーバー1名

2. 第7期 第9回理事会

日時：2024年10月17日（木）16：30～17：30

場所：みやこめっせ 地下1階「特別展示場」

出席：理事長、理事23名、監事2名、支部長5名

3. 第16回定時社員総会

日時：2024年10月18日（金）19：00～20：00

場所：国立京都国際会館 メインホール

出席：社員294名（委任状又は議決権行使書提出136名含）、監事2名、陪席13名

4. 第8期 第1回理事会

日時：2024年10月18日（金）20：15～21：00

場所：国立京都国際会館 Room F

出席：理事長、副理事長、理事24名、監事2名

5. 第8期 第2回理事会

日時：2025年1月17日（金）18：30～20：15

場所：Web開催

出席：理事長、副理事長、理事24名、監事2名

6. 第8期 第1回常務理事会

日時：2025年3月21日（金）14：45～15：15

場所：神戸国際会議場 5F 504+505

出席：理事長、副理事長、常務理事5名

7. 第8期 第3回理事会

日時：2025年3月21日（金）15：30～17：20

場所：神戸国際会議場 5F 504+505

出席：理事長、副理事長、理事17名、監事2名、オブザーバー1名

8. 第8期 第4回理事会

日時：2025年7月18日（金）18：30～20：20

場所：Web開催

出席：理事長、副理事長、理事19名、監事1名

理事候補者会議

1. 第8期 第3回理事候補者会議

日時：2024年8月28日（水）18：00～19：00

場所：Web会議

出席：理事候補者24名、監事候補者2名

各種委員会

○総務委員会（メール審議：2024年9月、2025年6月）

2023年度事業報告書案、2025年度事業計画書案の検討。

- 選考推薦委員会(メール審議:2025年1月15日)
JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム2025の公募、受賞者の選考および研究助成、外部賞の公募情報を学会 Webサイトで会員に周知。
- 利益相反委員会
利益相反 (COI) 申告管理システムの運用を開始。利益相反 (COI) 自己申告書提出依頼 (役員、委員会委員長、特定委員会委員など)。
- 財務委員会 (メール審議:2024年9月、2025年6月)
2023年度決算案および2025年度予算案を作成。
- 学術大会委員会 (2024年12月26日、2025年5月21日、2025年6月4日、メール審議:2025年1月15日)
学術大会会長と共に学術大会を総括的に推進し、第74回大会に向けて一般演題に関する検討・確認、各プログラム案等の内容確認の協力および第76回学術大会の運営会社を選定。
- 総合アレルギー講習会委員会
*総合アレルギー講習会委員会 (2025年3月5日、2024年7月28日)
座長・講師・実習責任者/講師の招聘待遇、第12回総合アレルギー講習会の開催概要、ハイブリッド開催様式、講義・実習プログラム等の内容の検討、座長・講師、実習責任者の推薦者確認、エピペンの手配方法について検討。
*第11回総合アレルギー講習会 (2025年3月4日)
第11回総合アレルギー講習会の実施方法、実施マニュアル、当日の運営の確認。
- 学術委員会 (2025年1月17日、2025年4月30日、メール審議:2025年5月27日)
各附置委員会と連携し、新たに、薬物アレルギー委員会、好酸球増多疾患委員会を附置委員会として提案。新規 WG等申請・審査手順検討WGを立ち上げ、ワーキンググループ (あるいはタスクフォース) 設置の申請およびガイドライン・診療の手引き作成の申請手続きについて検討。
- 下気道アレルギー委員会
「喘息予防・管理ガイドライン (JGL) 2024」を2024年10月17日に発行。
- 皮膚アレルギー委員会
「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2024」を公益社団法人日本皮膚科学会との共同出版として、日本皮膚科学会誌 (2024 年 10 月 20 日発行) およびアレルギー (2024 年 11 月 1 日発行) に掲載。
- 食物アレルギー委員会 (2025年1月27日)
学術委員会からの依頼事項について検討 (副委員長の選出など)。
*合同委員会 (日本小児アレルギー学会との合同開催) (2024年10月7日、2025年1月27日、4月9日)
「食物アレルギー診療ガイドライン2026」(2026年11月28日~29日に開催される第63回日本小児アレルギー学会学術大会で発刊予定) の作成に向けて検討。
- アレルギー・免疫療法委員会 (2024年12月12日)
「アレルギー免疫療法の手引き2025」作成WGおよび「皮膚テストの手引き2025」作成WGを設置。「アレルギー免疫療法の手引き2025」を2025年6月30日に発刊し、「皮膚テストの手引き2025」は2025年8月30日に発刊予定。
- Anaphylaxis 対策委員会(メール審議:1月29日、2月19日、7月22日)
「アナフィラキシー啓発サイト」の維持・管理。「アナフィラキシーガイドライン2022」PDF版、冊子版の普及。
- 研究推進委員会 (2025 年 3 月 10 日、6 月 25 日、メール審議:2025 年 2 月 14 日、5 月 8 日、6 月 3 日)
Allergology International 編集委員会と共に、2025 年度サノフィ優秀論文賞の公募、受賞者の選考、2024 年度臨床研究支援プログラムの公募、受賞者の選考、学会主体の臨床研究と研究ネットワークサポート制度立ち上げ等について検討。
- 学術大会賞選考委員会 (2025年5月27日、メール審議:2025年6月2日)
第21回学術大会賞の公募および選考、学術大会賞細則等の一部改正について検討。
- 和文誌「アレルギー」編集委員会
(2024年11月26日、2025年6月19日、メール審議:2025年2月14日、2025年5月16日、5月30日、7月24日)
学術大会特別講演演者からの「総説」、「専門医のためのアレルギー学講座」は、総合アレルギー講習会のテーマを基本にシリーズを構成、「ガイドラインのワンポイント解説」は常に新しいガイドライン情報を提供 (不定期掲載)、「アレルギー用語解説シリーズ」(専門医を目指す会員が知っておくべきレベルの用語解説を基本とし毎号3編程度) 掲載、「私のアレルギー史」は名誉会員に寄稿を依頼 (年1編程度)。
2025年からは冊子を廃止し、電子ジャーナル (J-STAGE、電子書籍 KaLib、メディカルオンライン) に掲載。
- 英文誌「Allergology International」編集委員会 (2024年11月14日、2025年5月12日)
Allergology International は、J-stageおよびScience Direct(エルゼビア)にオンラインジャーナル掲載。
2025年1月より冊子の発行を廃止した。2024年インパクト・ファクター(IF)は6.7。

○専門医制度関係

*専門医制度委員会

*専門医制度・資格審査・試験問題作成・教育研修合同委員会（2025年2月26日）

専門医、指導医、教育研修施設の認定、更新認定、令和8年度（2026年度）専門医試験の日程について検討、アレルギー専門医カリキュラム、専門医制度規程別表1の改定について検討。

*資格審査委員会（2024年12月10日、2025年2月18日、メール審議：2024年11月22日）

令和7年度（2025年度）認定専門医申請者の書類選考および申請者280名全員の受験資格を承認、専門医（指導医）申請・更新における有効な症例について検討、指導医および教育研修施設審査基準について検討。

*試験問題作成委員会（2024年9月3日、9月17日、2025年1月11日、5月28日）

令和7年度（2025年度）試験問題の作成方針・確認作業・確認分担の検討および試験結果を確認、令和7年度（2025年度）認定専門医試験を2025年4月6日（日）にCBT方式で実施。

*教育研修委員会（2024年8月26日、11月25日、2025年3月26日、7月8日、メール審議：2024年5月7日）

第67回および第68回専門医認定教育セミナーのプログラム案、講師候補を検討、E-learning for Allergy Traineesのアップデート運用方法について検討、アレルギー専門医テキスト（仮称）の発刊について検討。

*機構認定専門医特別委員会（2024年10月18日、2025年1月9日、メール審議：2025年2月7日）

整備基準および研修カリキュラム案を改訂。

*関連団体

日本内科学会：整備基準および研修カリキュラム案を提出（2025年5月30日）

日本医師会：日本医師会役員と機構認定専門医制度に関する打ち合わせ（2025年3月22日）

○国際交流委員会（メール審議：11回）

WAO、European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI)、DGAKI（ドイツアレルギー学会）等との交流事業。第73回学術大会におけるEnglish Sessionの企画、開催。Kenji Mano Travel Grantの公募、運営。2025年度海外研究留学助成金の公募、選考。

○診療報酬・医療問題検討委員会

2026年度（令和8年度）診療報酬改定に向けて、内保連関連委員会と調整を行い、内保連に提案書を提出し、7月に厚生労働省のヒアリングを実施。

○医療戦略検討委員会（2025年6月2日）

次年度のアレルギー疾患対策推進に関する基本的な指針改定の方針性に関し意見交換を実施。

○働き方改革推進委員会（2025年2月14日）（メール審議：2024年11月21日）

第9回働き方改革推進奨励賞受賞者を選考。第74回学術大会時開催の働き方改革推進委員会企画セミナーのプログラムの作成、演者の選定、Liveアンケート企画、展示ブースの企画について検討。

○広報委員会・Web編集委員会・啓発活動委員会（2024年12月17日、2025年6月9日）

第73回学術大会動画配信の実施、アレルギーポータルの更新頻度および掲載内容のチェック体制について検討、SNS発信の業務分担について検討した。

*SNS発信の方針に関する打ち合わせ（SNS担当者会議）（2025年2月25日）

[特別委員会]

○アレルギー疾患対策基本法特別委員会（2025年4月28日）

アレルギー疾患対策基本法に則した施策の検討、2025年度の厚生労働省助成事業（アレルギー情報センター事業）内容の検討。

[その他委員会]

○臨床アレルギー講習会ワーキンググループ

*第8回臨床アレルギー講習会ワーキンググループ（2025年2月3日）

第8回臨床アレルギー講習会の開催概要、運営方法、プログラム、日程、受講料、会場及び今後の運営について検討。

○ジュニア委員会設立ワーキンググループ（2024年9月11日、2024年12月25日）

ジュニア委員会の設立に向けて、目的や活動内容を検討。

*第74回日本アレルギー学会学術大会「若手シンポジウム企画」についての打ち合わせ（2025年2月13日）

本WGの委員により推薦された若手医師を中心に、シンポジウムの目的やテーマについて検討。

○「アレルギー総合診療のための分子標的治療の手引き」作成ワーキンググループ

「アレルギー総合診療のための分子標的治療の手引き 2025」を2025年3月11日に発刊。